

令和6～7年度入学者

農業生物科学教育コース

科目区分

コア科目	アドバンス科目	課題プロジェクト演習科目	演習科目	特別研究科目
コア科目	アドバンス科目	課題プロジェクト演習科目	演習科目	特別研究科目

示

学修目標			修士1年				修士2年				博士1年				博士2年				博士3年			
区分	修士課程	博士課程	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
D 実践	D-2複眼的な視点を有し、多様な問題解決法を提案することができる。	D-2.複眼的な視点を有し、多様なかつ斬新な問題解決法を提案することができる。																				
		D-1.学際的知識を社会に還元する意欲を有する。	D-1.先天的・学際的な知識を社会に還元する能力を有する。																			
C-1 適用・分析	C-2 自然科学、特に農業生物関連科学の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を発見し、農業生物学、遺伝学、生態学、微生物学、環境科学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決を提案することができる。	C-2 自然科学、特に農業生物関連科学の様々な現象についての深い理解に基づいて問題点を発見し、農業生物学、遺伝学、生態学、微生物学、環境科学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発、実問題の発見、解決、及び新分野の開拓に利用できる。																				
B 知識・理解	B-5 農業生物学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。	B. 農業生物学、遺伝学、生態学、微生物学、環境科学に関する専門的知識について、新分野の開拓に活用できる程度に深く理解し、説明することができる。																				
A 主体的な学び・協働	A-2.自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力を高め、周囲と協調し、共同して問題解決にあたることができる。	A-2.自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力、傾聴力、指導力を涵養し、リーダーとして問題解決にあたることができる。																				
A 主体的な学び・協働	A-1.自然科学、特に農業生物関連科学における非専門領域を含む幅広い学問分野に関心をもち、自ら進んで問題に取り組むことができる。	A-1.自然科学、特に農業生物関連科学における非専門領域を含む幅広い学問分野に関心をもち、自ら進んで問題に取り組む、解決し、新分野の開拓に貢献することができる。																				
区分	修士課程	博士課程	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
課程の時期区分			修士1年				修士2年				修士1年				修士2年				修士3年			
アセスメント・プラン			修士論文発表後に学生による自己評価を行う。										中間報告および博士論文発表後に学生による自己評価を行う。									